

# ちよつと昔の道具たち ―はかる道具―

## 体験教室

「わらぞうりを作ろう」

二月二日(日)午後一時～四時  
定員二十五名 参加無料  
電話でお申し込みください。

## 市民歴史大学

「大和川と水運」

一月二〇日(土)午後一時三〇分～  
綿貫友子氏(大阪教育大学教授)  
「大和川と流域の中世」  
二月二四日(土)午後一時三〇分～  
岡田光代氏(大阪府立大学准教授)  
「近世の物流と柏原船」  
定員九〇名 参加無料 申し込み不要

柏原市立歴史資料館



会 期：2009年1月10日(土)～3月8日(日)

開館時間：9時30分～16時30分 休館日：月曜日 入館料：無料

〒582-0015 大阪府柏原市高井田1598-1 電話 072-976-3430



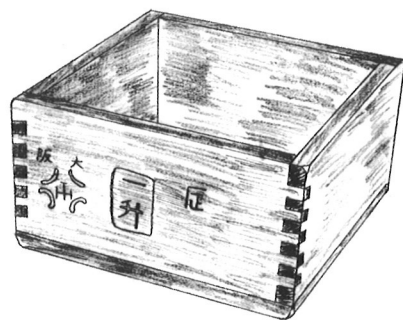
## はかる道具

ものさし、ます（枡）、はかり（秤）などで、長さ、量、重さを知ることが「はかる」といいます。はかる道具にはどんなものがあるのでしょうか。

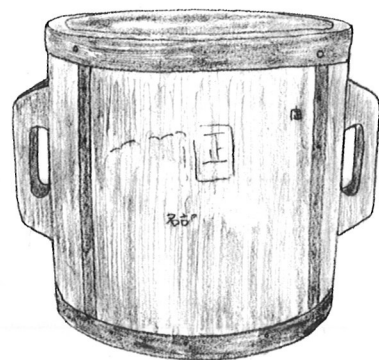
長さをはかる道具をものさしといいます。竹や木・骨などの板や棒に目盛りをつけたものです。1尺は30.3cm、1寸は1尺の10分の1の長さです。

枡は量（体積）をはかるための道具で、おもに食料をはかる道具として使われてきました。昔はいろいろな枡が使われていましたが、それでははかるたびに量が変わってしまうため、枡の大きさが決められるようになりました。枡には一斗、七升、五升、一升、五合、二合、一合などの種類があります。

一斗枡は円筒形をしています。ほかの枡は四角い箱形をしています。1升は1.8リットルです。



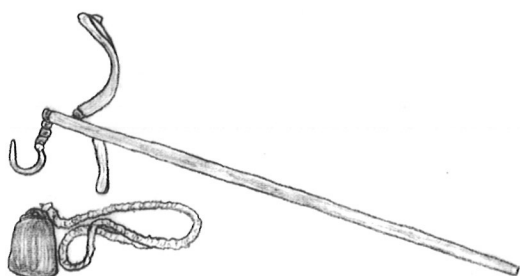
いっしょうます  
一升枡



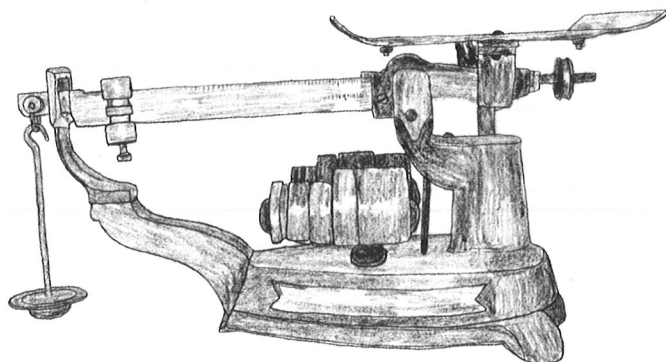
とます  
斗枡

重さをはかる道具をはかり（秤）といいます。はかりには、さおばかり、てんびんばかり、台ばかりなどがあります。さおばかりは、ぶらさげた棒の片方に物をぶらさげ、もう一方におもりをぶらさげて、ちょうどつり合ったときのおもりの重さやおもりまでの距離（長さ）によって重さをはかる道具です。台ばかりは、台の上に物をのせ、重さをはかる道具です。一貫は3.75kgです。

はかることは、わたしたちの生活と切りはなすことのできないものです。昔のはかる道具と今のはかる道具は、どのように変わったのでしょうか。



さおばかり



台ばかり